

Ⅱ 使役動詞をスピーキングに役立てる

我叫/让他去北京。(私は彼を北京に行かせます)

「…させる」のような使役表現は、中国語では“叫/让”などの使役動詞を使います。“叫”なら「命じて…させる」、「让」なら「…してもらおう」の意味を含みますので“叫”より“让”のほうが丁寧です。

比較的大型の辞書では“叫/让”は「…させる」以外に「…するよう言う」という日本語が書かれています。ぜひこれもインプットしておきましょう。ちなみに“使”も使役動詞ですが、“使”にはこの用法はありませんので今回は除外しています。

上の例文を「私は彼に北京に行くよう言います」と訳してもいいわけです。ここがスピーキングのポイントです。逆に「私は彼に北京に行くよう言います/言いました」と言いたいとき、“我对他说：‘你去北京’”だけでなく、使役表現を使った“我叫/让他去北京”に変換する選択肢もあれば表現力がアップします。この構文は「…するよう言った」でも“叫/让”の後に動作の完了を表す“了”は必要ありません。

(a) AはBに…するよう言う：A+叫/让+B+動詞

ついでにもう一つ。「…するよう言われる」のような受身表現も使役動詞の“叫/让”を使って表せます。「私はお母さんに田舎に帰るよう言われました」は、「お母さん」を主語に持ってきて“妈妈叫/让我回老家”となります。日本語は受身表現が多いのですが、全て受身表現を使って中国語に訳すことはできませんので、この構文もインプットしておくとう便利です。

(b) AはBに…するよう言われる：B+叫/让+A+動詞

この構文は、Bが一人称と二人称以外の人に有用です。

練習問題

中国語に訳してください。

- 1) 私は李社長にここでちょっと待つよう言われました。
- 2) 私はあなたに病院に行くよう言ったのに、どうして行かなかったのですか。
- 3) 王先生にあそこに座ってもらいましょう。